

(山田委員)

吉川市教育大綱（案）

## 「家族や地域に育まれ、希望に向かって（or 志高く）力強く生きる」

### 【タイトルの説明】

グローバル化、情報化等、これから更に大きく変化することが予想される社会を生き抜き、幸せな人生を送るために、自らの目標を見つけ、その達成に向けて力強く前進することが肝要である。

人の成長は、人的・物的・教育プログラム的な環境に左右される。従って、家庭や学校・地域社会は、その目標が達成できるよう、一人ひとりに応じた支援に努めることが大切である。

(神田委員)

## 吉川市教育大綱（案）

**① 家族を（が互いに）慈しみ、郷土を愛し、志を持って生きる****家族を（が互いを）大切にし、郷土を愛し、志を持って生きる**

※ 「家族を愛し」だけだと本来の意味が伝わらないことが考えられる。例えば、ルールを守らずに、家族のために電車の席取りをする等。

**② （かけがいのない）命を大切にし、郷土を愛し、志を持って生きる****（かけがいのない）命を慈しみ、郷土を愛し、志を持って生きる**

※ 最後の「生きる」で命を大事にするということになるかもしれないが、あえて命を大切にするということを入れた。

**③ 郷土を誇りに思い（よく知り）、家族を愛し、志を持って生きる****【タイトルの説明】**

※ 「郷土を愛する」とは、吉川に住みたい、誇りである。と思うことである。  
そのためには、文化も含めて、吉川をもっと知って欲しい。知らないと伝えられない。  
郷土（ふるさと）吉川を学ぶ学習の充実が必要である。

- ・「志を持つこと」は、人生を切り拓いていく力をもち、社会を生きぬいていくこと。（志を持てば、命を大切にすることにもつながるかもしれないとも考える）
- ・「命を慈しむ」は世の中で一番大切な命を大切にすること。（いじめ等による中高生の自殺や社会に出てからの自殺が後をたたない。そのためにも命の教育が重要である）
- ・「家族を愛する」とは、自分を大切にすること。家族がお互いを支えあってこそ、自分は強く生きていける。自分のことを本当に大切にするならば、必ず家族を大切にすることにつながる。（また自分の愛する家族とできるだけ多くの時間を過ごし、その時間がかけがいのないものと知り、その大切さを学んでほしい）

(関根委員)

吉川市教育大綱（案）

- ① 家族や郷土を愛し 志を立てて生きていく
- ② 家族や郷土を愛し 共に志す
- ③ 志を立て 人や郷土を愛す
- ④ 志を立て 学ぶ共育（きょういく）

吉川市の未来を担う子どもたちが、生きる力を育むためのメッセージです。  
志を持って、心身ともに健やかに成長し、自立した社会人になり、地域に貢献できる  
人財になってください。  
命を大切にし、人を愛し、共に助け合うことのできる心を持ち続けてください。  
いつの日か、このメッセージを想い出したとき、吉川の情景が目に浮かぶことを願い  
ます。

(小林委員)

吉川市教育大綱（案）

吉川市がめざす教育

# 郷土愛と立志

案1：人から学び、人へと還す

案2：志を立てる郷育（きょういく）

案3：未来をともに創る 郷育（きょういく）

案4：志を立て、共に学ぶ

案5：志を立て、学ぶ共育

案6：家族を郷土を愛し、志をもって生きていく

吉川市には、地域で見守り、育み合う、昔ながらのあたたかさが残っています。家族や先生、友人、地域の人々のあたたかなぬくもりに触れながら、生きる力を培い、志を立て、社会に貢献していく人材を育みます。人口が増え、都市化が進む中でも、地域の人々の心が通じ合える資産が未来に残ること、そして、その中で豊かな心を持った人材が生まれ、社会で活躍することを願っています。

家族を **郷土**を愛し  
志を立て

**凛**として生きてゆく

「ふるさとさう」  
取扱的ではなく  
取扱を限定することもなく  
「志」という意味に応  
する表現として「郷土」を

山田頃「勇く前進」関根頃「健やか・自立」  
小林頃「豊かな心」神田頃「切り拓く力」  
等とふまえてイメージとして伝わる言葉を挿入。

「郷土、郷土愛」  
を表現

いま君を包む、家族、仲間、街、時間…  
そうしたものを大事にすることから全てがはじまる。

そしてそれは、自分自身を大切にすることにつながっていて、

その中で人は、「自分の為」だけではなく、  
「誰かの為に」、「社会の為に」という志が立ち上がってくる。

→ 神田・関根頃  
の「命」を表現

常にこのメッセージを胸に、  
真っ直ぐに未来に向かって欲しい。)

→ 「凛として生きる」を表現

★ この目標を達成するには、

「非認知能力」→ 実年齢の倍の重ね

コミュニケーション能力の向上、

忍耐力 等が必要となる。

△ これから様々な政策・事業展開を!!